

# 自己紹介

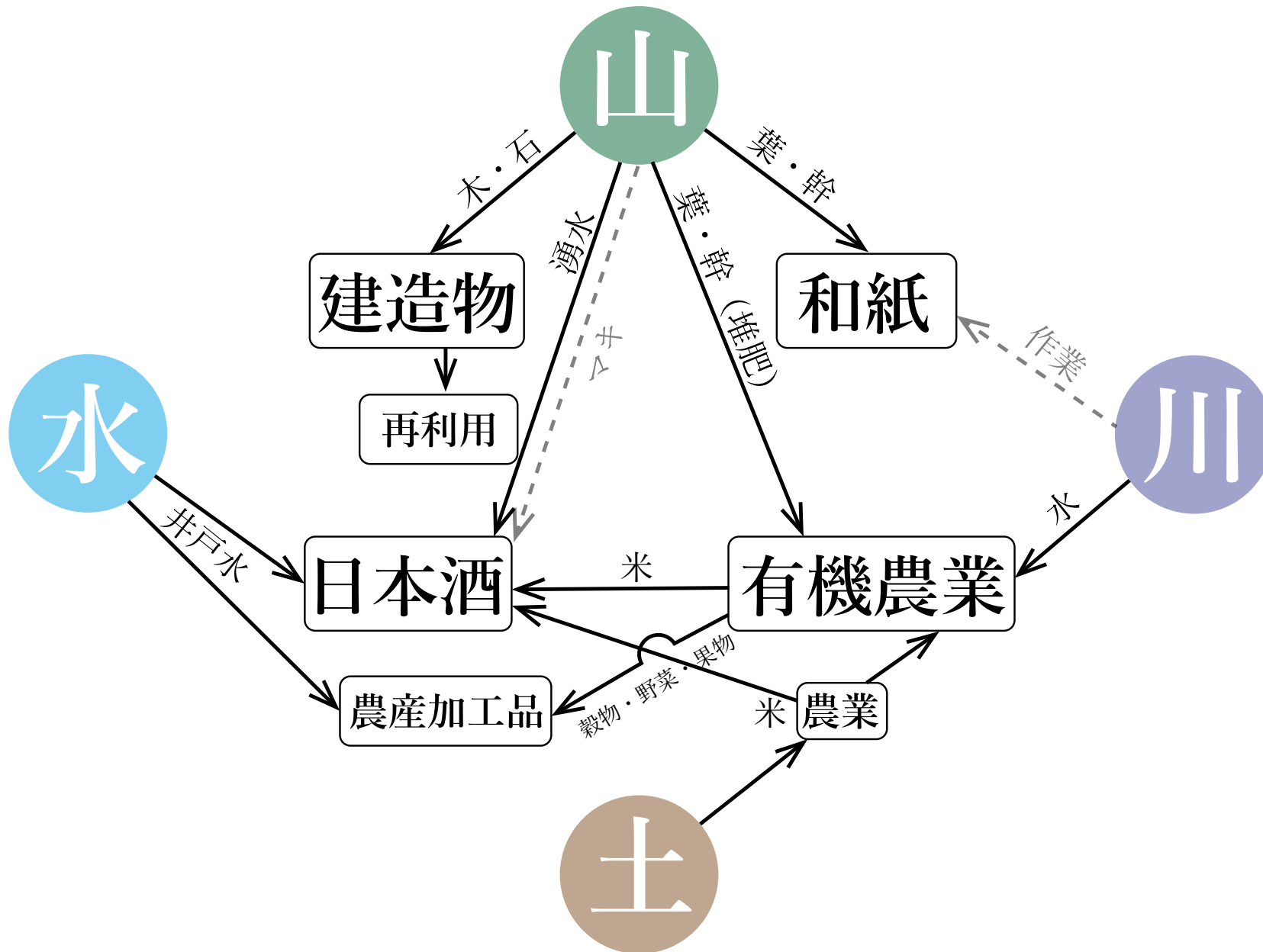
## 白石 欣也

東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻 寺田徹研究室  
博士課程1年

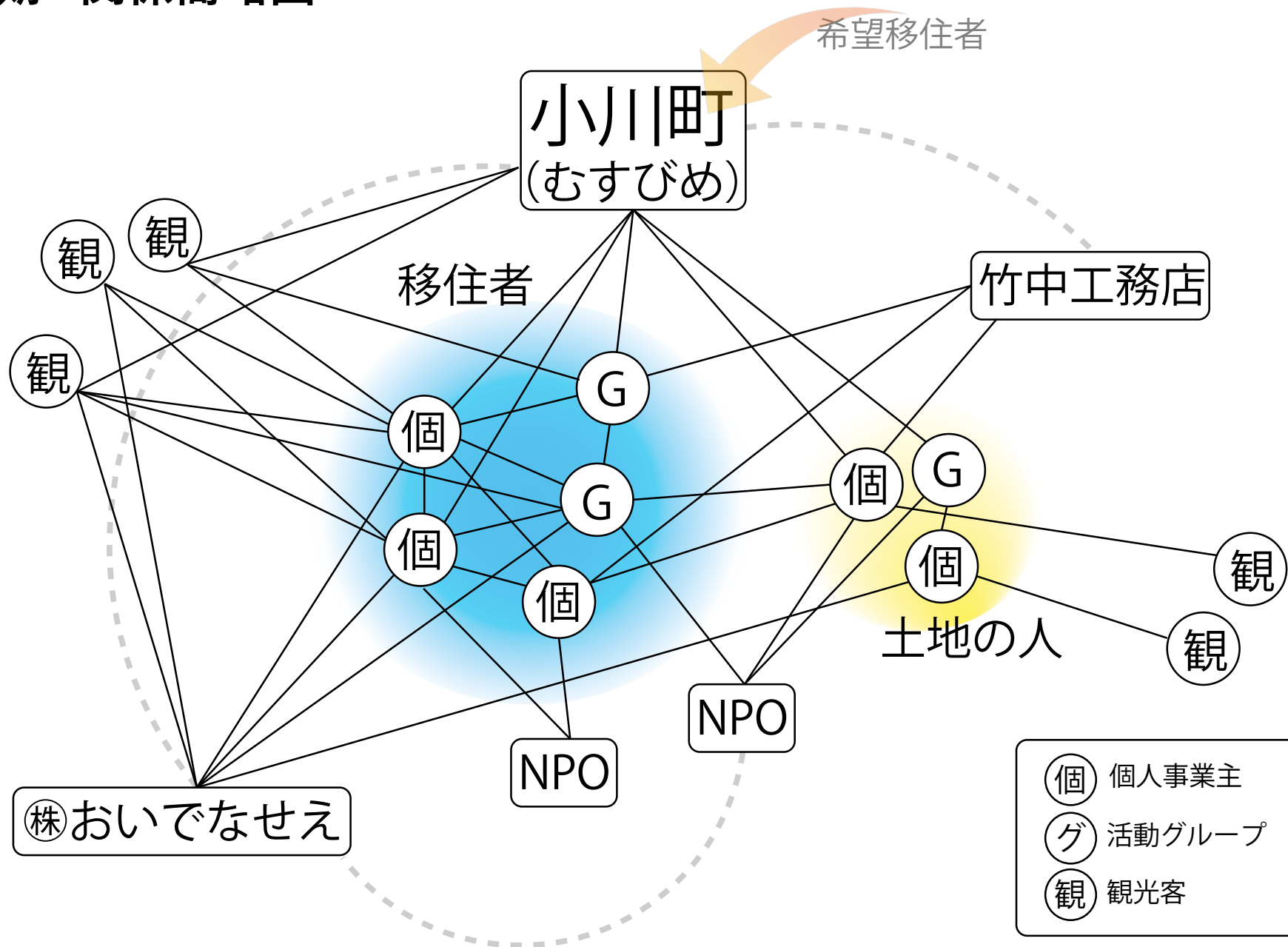
## クレン・デヴリーズ

東京大学大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻 福永真弓研究室  
研究生

# 調査初期：資源・生産フロー図



# 調査初期：関係簡略図





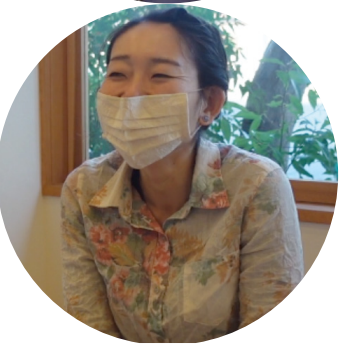
小

川

町



人



COLLECTIVE MEMORY  
OF OGAWAMACHI

記



場



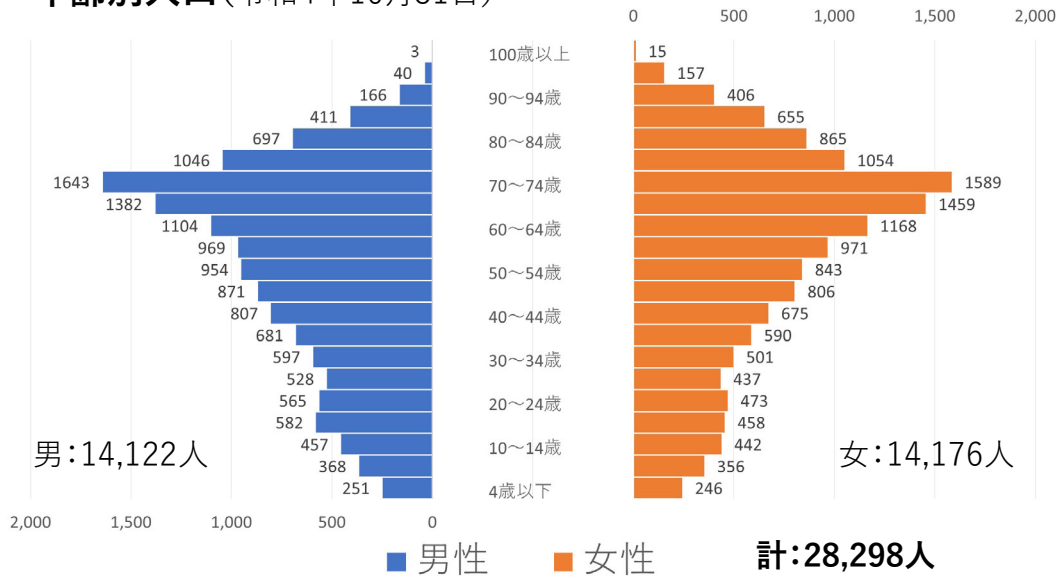
憶



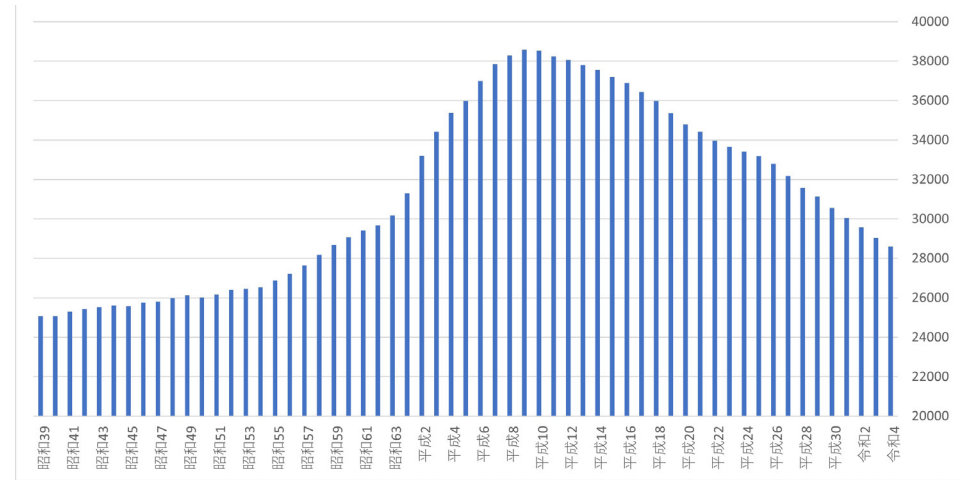


# 小川町の人口について

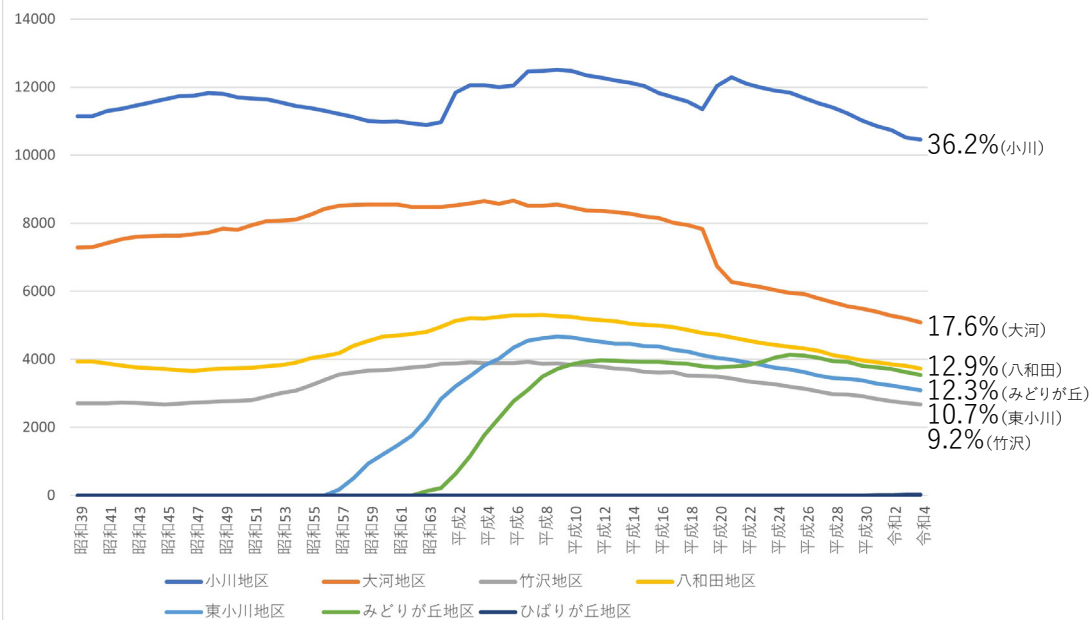
## 年齢別人口(令和4年10月31日)



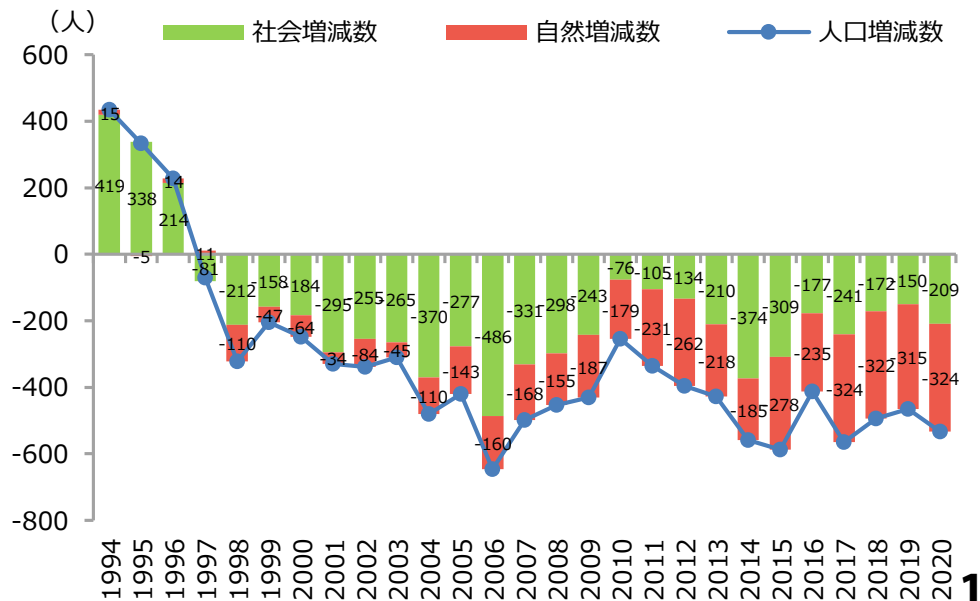
## 人口推移(昭和39年～令和4年)



## 地区別人口推移(昭和39年～令和4年)



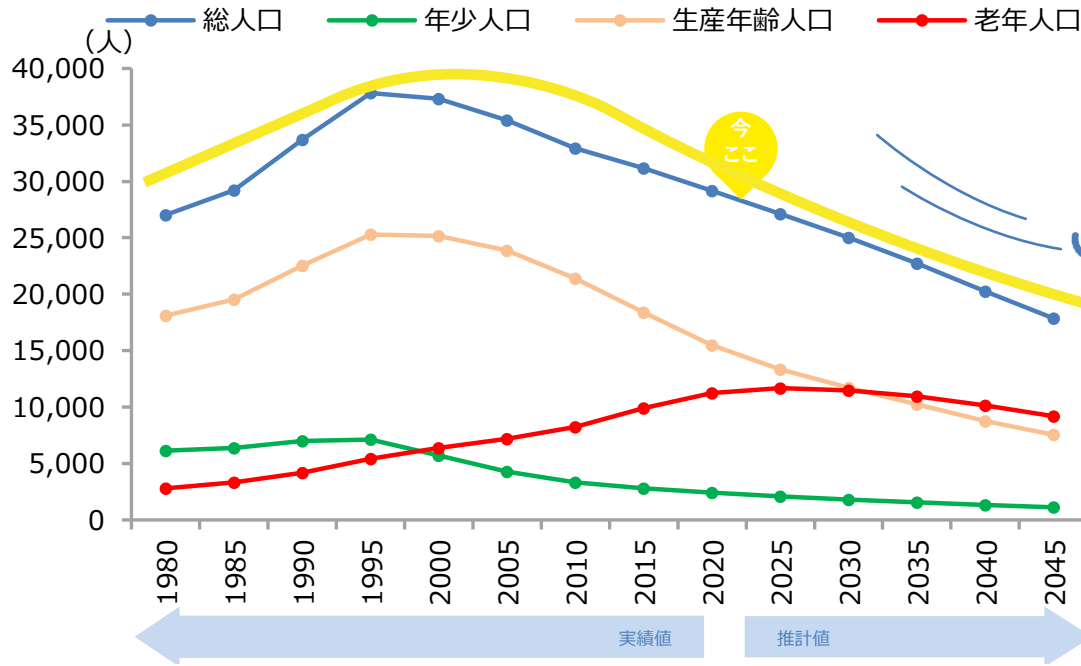
## 自然増減・社会増減の推移(1994年～2020年)



右下グラフ/出典: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



# 小川町の高齢化の推移と将来推計



高齢者  
増える

65歳以上の割合

今  
ここ

2020

20%



2045

50%

65歳以上を15~64歳で  
支える割合

今  
ここ

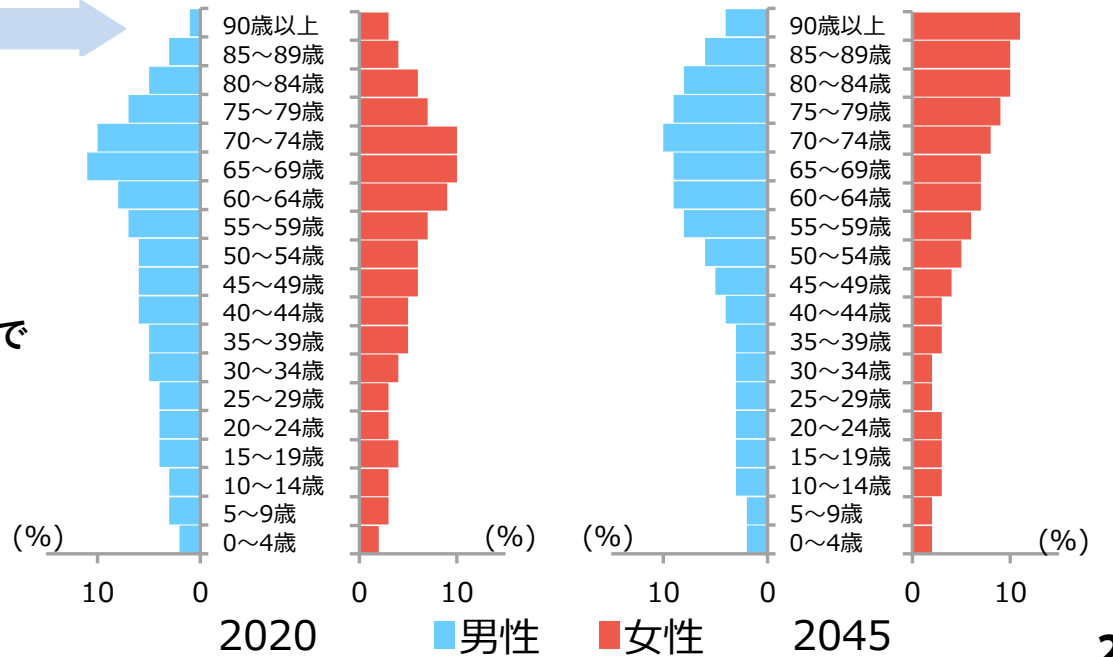
2020

1.2人

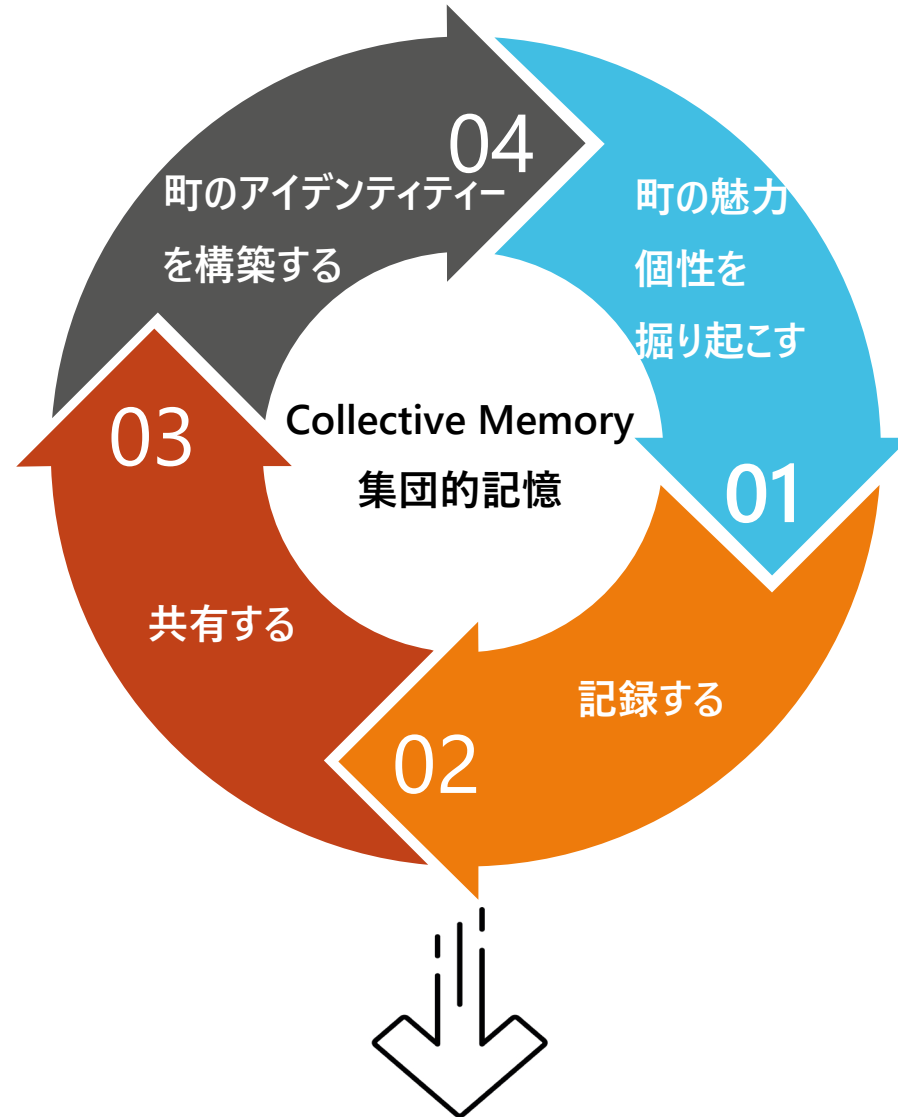


2045


0.8人



# まちづくりのプロセスとして



新しい人が惹きつけられる 強いコミュニティを形成する  
持続可能な町へと発展する

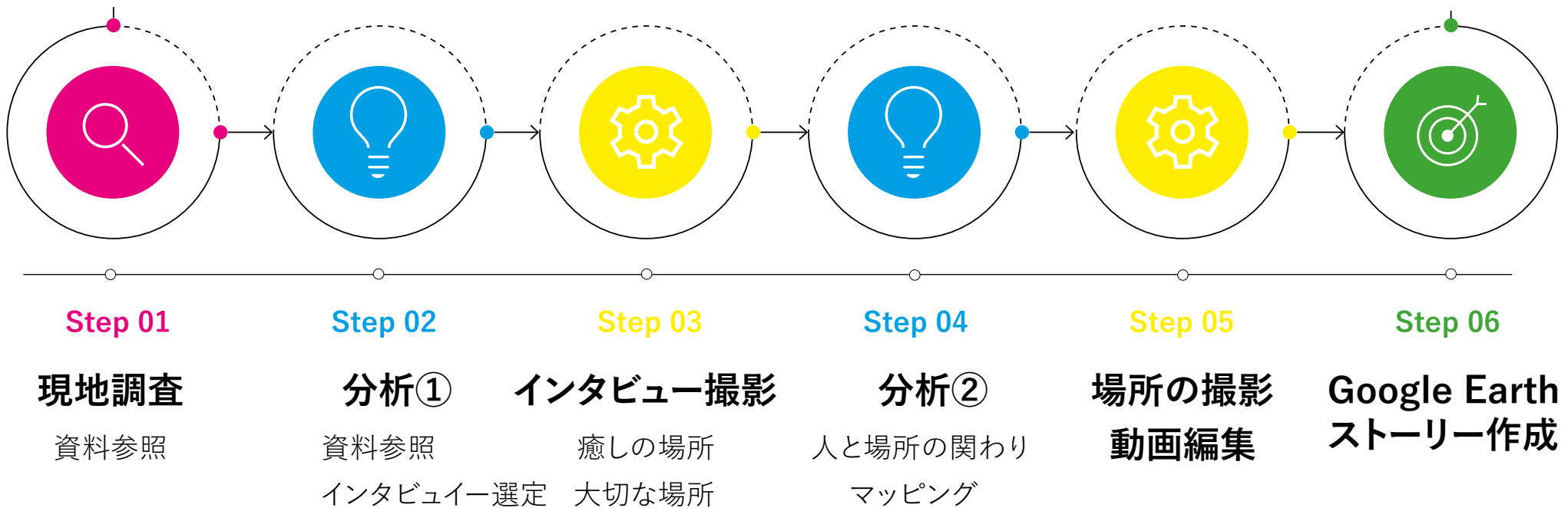


小川町の  
住人の誇り  
とは？

小川町らしさ  
とは？



# プロセス







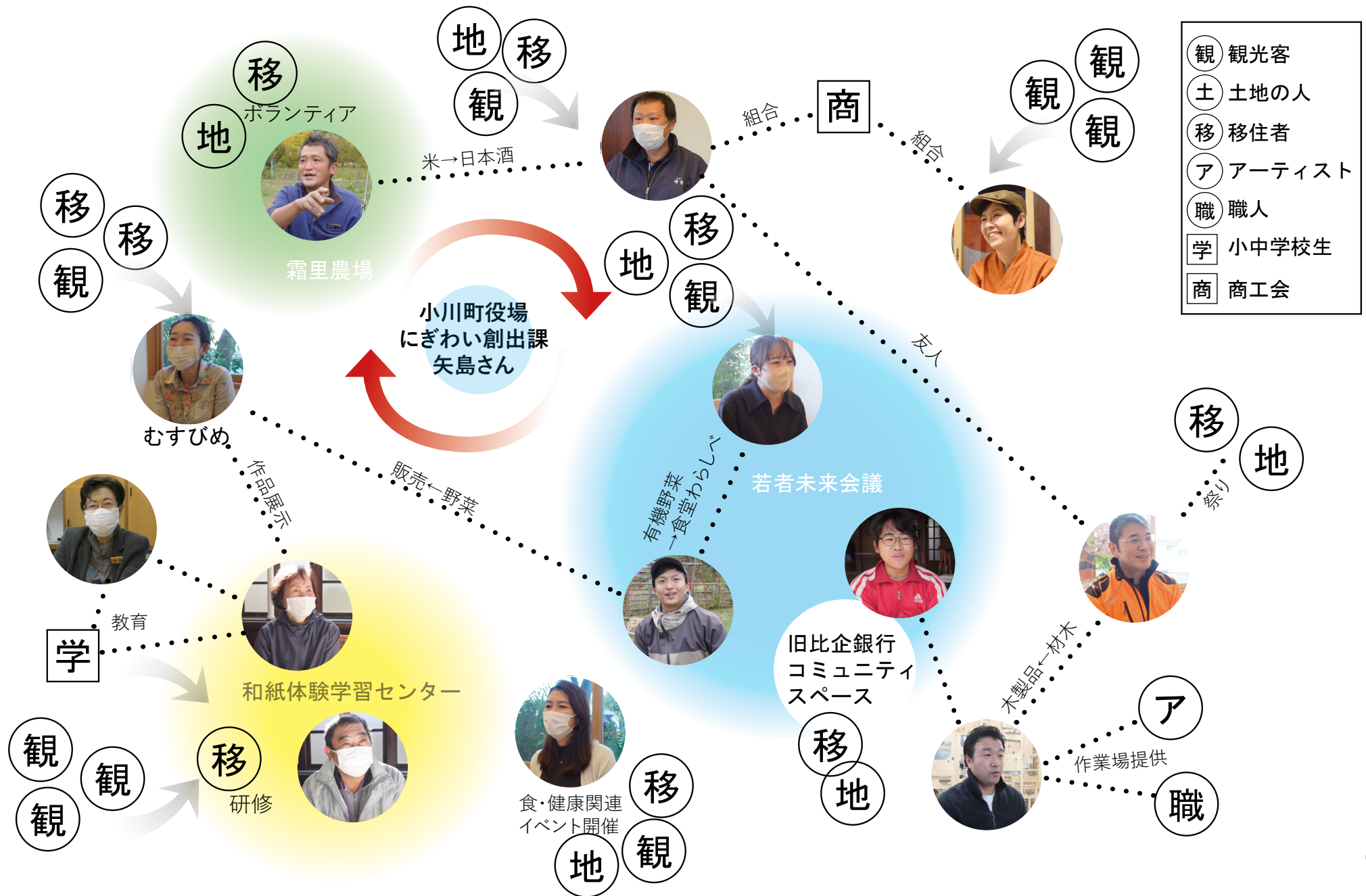
## 小川町の人と場所のストーリー登場人物







# 小川町の人と場所のストーリー登場人物関係図





## インタビュー撮影風景



木谷さんと旧比企銀行にて  
2022年12月19日

### 質問内容:小川町で～

- ・癒しの場はどこですか？
- ・自然を感じる場所どこですか？
- ・大切な場所はどこですか？
- ・言伝えや民話は知っていますか？
- ・小さい頃の思い出/移住してきた時の印象は？







# インタビュー内容要約・分析

	癒しの場	自然を感じる場	大切な場	言い伝え・民話	小さい頃の思い出/移住した時の印象
新田さん	見晴らしの丘(盆地全体が見える) 大塚八幡神社のお祭り		図書館(20年前に建てられ、霜里の石が使われた)	霜里の由来など.. 川の歴史:商店街が周りにできた	お祭りに参加ができなかった
木谷さん	親水公園の川沿い、古い建物や子供の遊びなど眺める	町中からの山、町の全体のスケール感、盆地自体による安心感	知り合いの家で囲む食卓、自家製の野菜で食事、小川町の豊かな生活	「とうとうや」藁の棒で子供が家の前でたたいて、お菓子をもらう	駅降りて統一感のない風景でみんなが一緒に生活している、人のつながりと多様性
内村さん	親水公園の自然が多くて落ち着く 和紙が水と関連するので水が見えるところ		鎌倉から使われた歴史のある道で歩いてみたい		すごい田舎だと聞いたけど、一番落ち着く場所になった
保田さん	和紙体験学習センター	馬橋から眺める槻川と笠山 見晴らしの丘	吉田家住宅の重要文化財	慈光寺と 慈光平廃寺跡	岡山から来たら、どんだけ田舎!! 東武鉄道で次の駅まで7分、山中の雰囲気
中山さん	自宅(大塚) 霜里農場とのお米と酒づくり会で自然を味わう 下古寺の山で林業しながらの木漏れ日		霜里地区の田んぼ 自然を残すべきだからこそ管理して都市計画など 晴雲酒造	笠山神社の猫札は絹が盛んだところでネズミ除けとして使われていた	大塚地区で小川小学校の方に通って、小川東小のように丸坊主にならずに済んだ 栃本で遊ぶ、駄菓子屋が多かった 南裏通でザリガニを捕まえた 小川は100年くらい前は都会だった 昔の七夕祭の様子と今
吉田さん	わらしべでバイト後、親水公園の川沿いの道	全体的、家の近くの畑と田んぼで虫取りなどで自然を感じた	わらしべでいろいろな人との出会い		お母さんとお散歩ピクニック
八田さん	栃本親水公園の風景から槻川親水公園までの川沿い、小川小学校のイベント後はほかの家族と川沿って歩いて帰る、子供たちがザリガニを捕まえる	ご自宅からフクロウの鳴き声やコウモリの飛ぶ姿、鳥も虫も聞こえる	家の周りは集落で清掃する、大塚八幡神社の裏で借りてる畑	飯田神社で子供だけでお泊りして大人に必要なこと学習して仲良くなる	友達が小川町に住んでてそれで小川町が楽しいと思うようになった 居心地よくて、頼れる人が多かった、コミュニティがあるから引っ越してきた

## -キーワード-

仙元山見晴らしの丘公園	霜里地区	七夕まつり、槻川周辺	小川町駅	笠山	わらしべ	大河地区
栃本親水公園	小川町全体	食卓	和紙体験学習センター	酒造り	飯田神社	大塚八幡神社

	癒しの場	自然を感じる場	大切な場	言い伝え・民話	小さい頃の思い出/移住した時の印象
篠田さん	霜里地域の桜のある川沿いでドライブやヨガ	霜里地区の田んぼとモザート前の端でハイキングできるところ 栃本親水公園	小川幼稚園、みどりが丘小学校、(?)中学校 ヤオコーで小川町の野菜によってつながりを感じる		七夕祭りを家族みんなで経験する
鈴木さん		官ノ倉山を登ってお昼を食べる	小川宿コウリン	小川町で駅を作るための運動 江戸時代で宿に来てた有名人、浄蓮寺が鎌倉時代から残っている	昔は小川町通って社会人してて、レストラン経営の時も通って、駅周辺が暗かった
戸口さん	大河地区の上古寺の山の中で木を整える	町がピオトープみたい、守られている盆地 沢と杉の美しさ	家族がいる笑顔でいられる場所 山への感謝と防災管理	腰越の方の山で女が遊ぶ祭り(館川ダムの近く) お祭りが多い、12月6日のお祭り(神社)と豆まきも(寺)も同じとこで行われる	冬の蔵の酒造り 富士山でカブトムシを取りに行く
金子さん	霜里農場	見晴らしの丘の山で落ち葉を集めに行くところ 霜里農場はもちろん	霜里農場、近くの里山、近くの川など	霜里の由来	もともと小川町みたいところが好きだった、地元の人とつながる大切さ
横田さん	仕事で季節を感じる、お客さんと家の庭で火を焚いて話す		小川町全体で青山地区が特に わらしべとの取引や空間	だるまとの縁起が悪い	槻川沿って、山で遊ぶことで小川町を好きになった
笠原さん	(大河地区)近くの山で遠足、川でバーベキュー、星空を工場の外で見て帰る ものによって森林を守る、ものを見て山を思い出す		山の中の特別空間で自分なりの遊びや発見と春夏秋冬の味わい 川が町中を通して産業ができる	立て直す前の実家で戦争の兵鄭さんがきて、刀の跡がある 山を守るバイトで枝落とし	土、石、田んぼでいたずらして遊んでろうそく持って工事の穴に入る 飯田神社での炎祭りに参加する

## -キーワード-

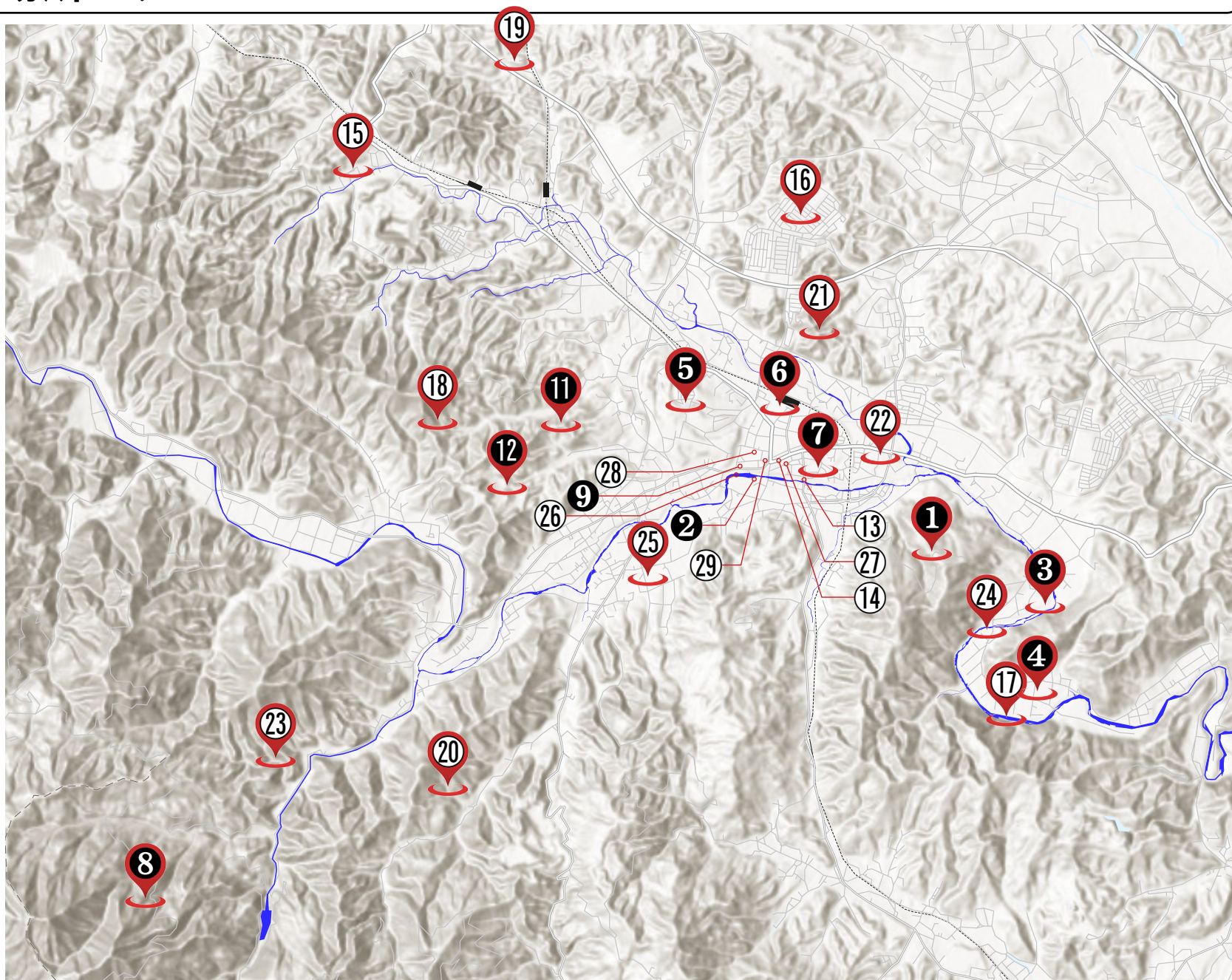
仙元山見晴らしの丘公園	霜里地区	七夕まつり、槻川周辺	小川町駅	笠山	わらしべ	大河地区
栃本親水公園	小川町全体	食卓	和紙体験学習センター	酒造り	飯田神社	大塚八幡神社



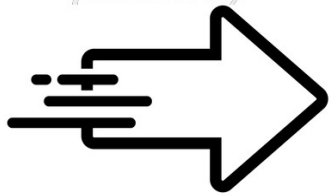


# 語られた場所マップ

- ①仙元山見晴らしの丘公園
- ②栃本親水公園
- ③下里地区
- ④下里の田んぼ
- ⑤大塚八幡神社
- ⑥小川町駅前-商店街
- ⑦和紙体験学習センター
- ⑧笠山・笠山神社
- ⑨町の酒蔵（晴雲酒造）
- ⑩わらしべ
- ⑪飯田神社
- ⑫大河地区の山
- ⑬馬橋
- ⑭小川町七夕祭り
- ⑮吉田家住宅
- ⑯みどりが丘小学校
- ⑰下里地域の川
- ⑱官ノ倉山
- ⑲慈光平廃寺跡
- ⑳大河地区上古寺の森林
- ㉑富士山
- ㉒小川小学校
- ㉓腰越の方の山
- ㉔霜里農場
- ㉕青山地区
- ㉖栃本堰
- ㉗南裏通り
- ㉘小川町立図書館
- ㉙旧比企銀行
- 小川町全体



\* 黒丸表記は動画作成



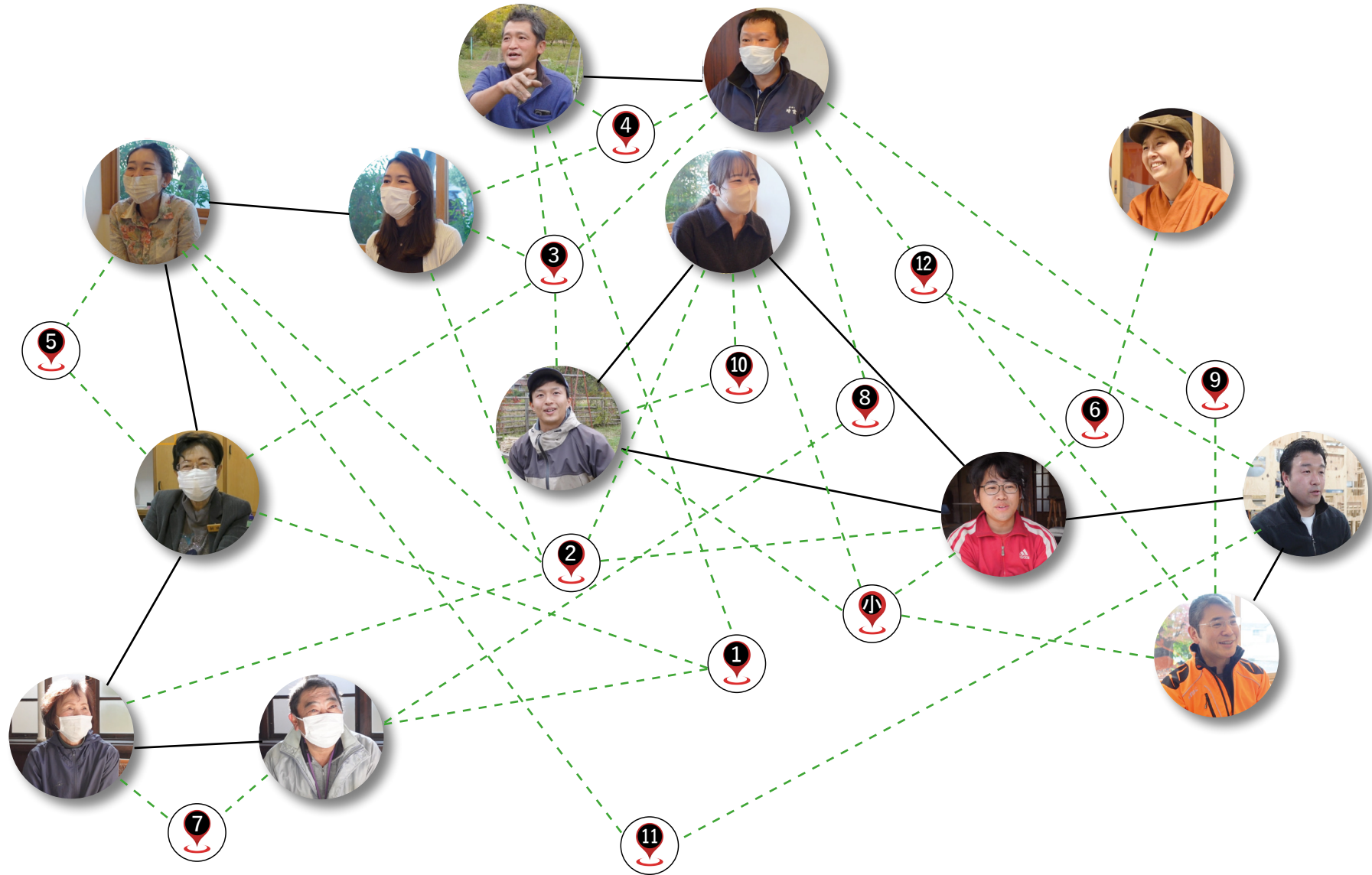
**Google Earth**

**小川町の人と場所のストーリー**





# 人と場所の繋がりマップ



- ①仙元山見晴らしの丘公園
- ②栃本親水公園
- ③下里地区

- ④下里の田んぼ
- ⑤大塚八幡神社
- ⑥小川町駅前-商店街

- ⑦和紙体験学習センター
- ⑧笠山・笠山神社
- ⑨町の酒蔵

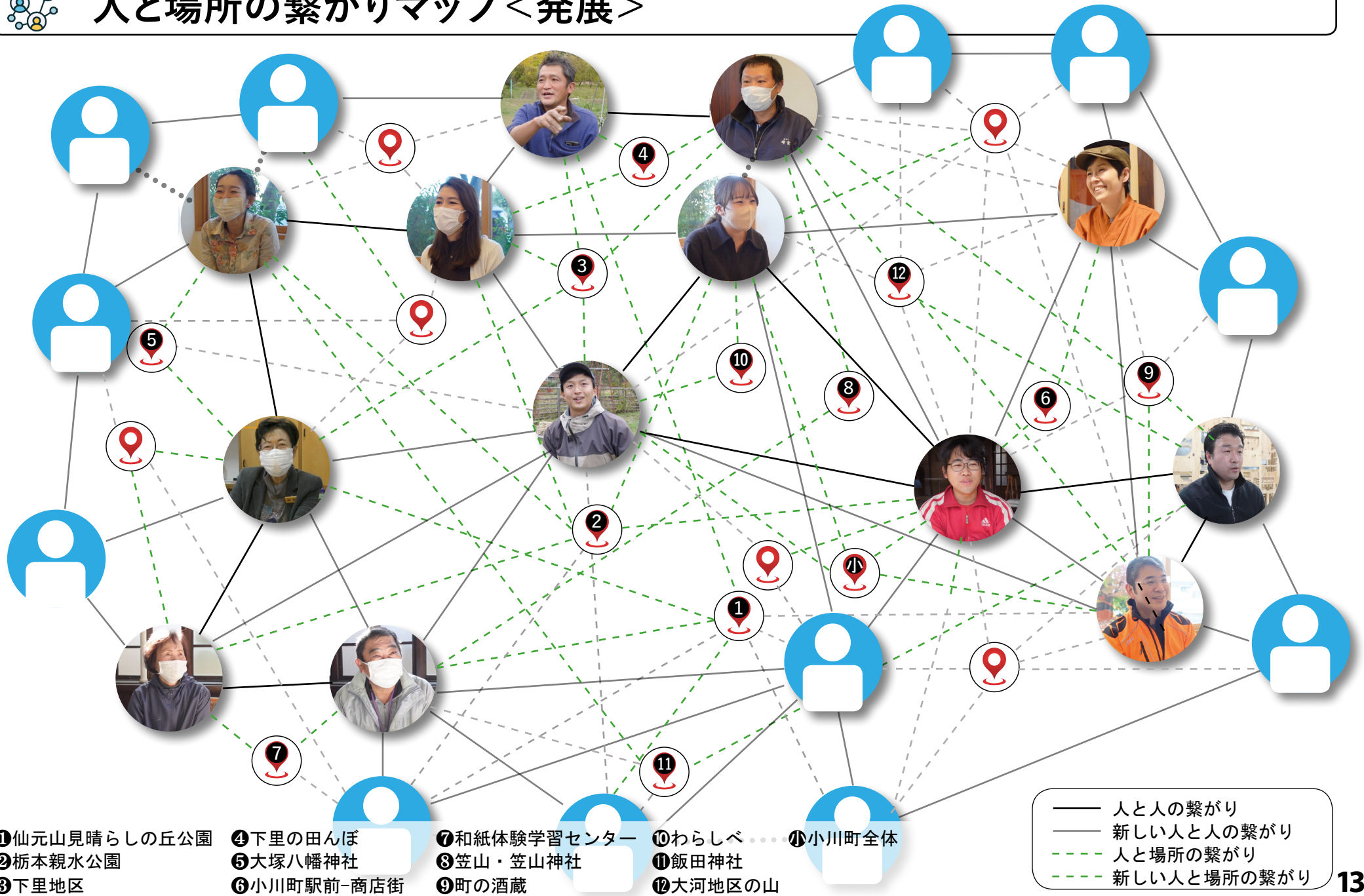
- ⑩わらしべ
- ⑪飯田神社
- ⑫大河地区の山

⑬小川町全体

— 人と人の繋がり  
 - - - 人と場所の繋がり



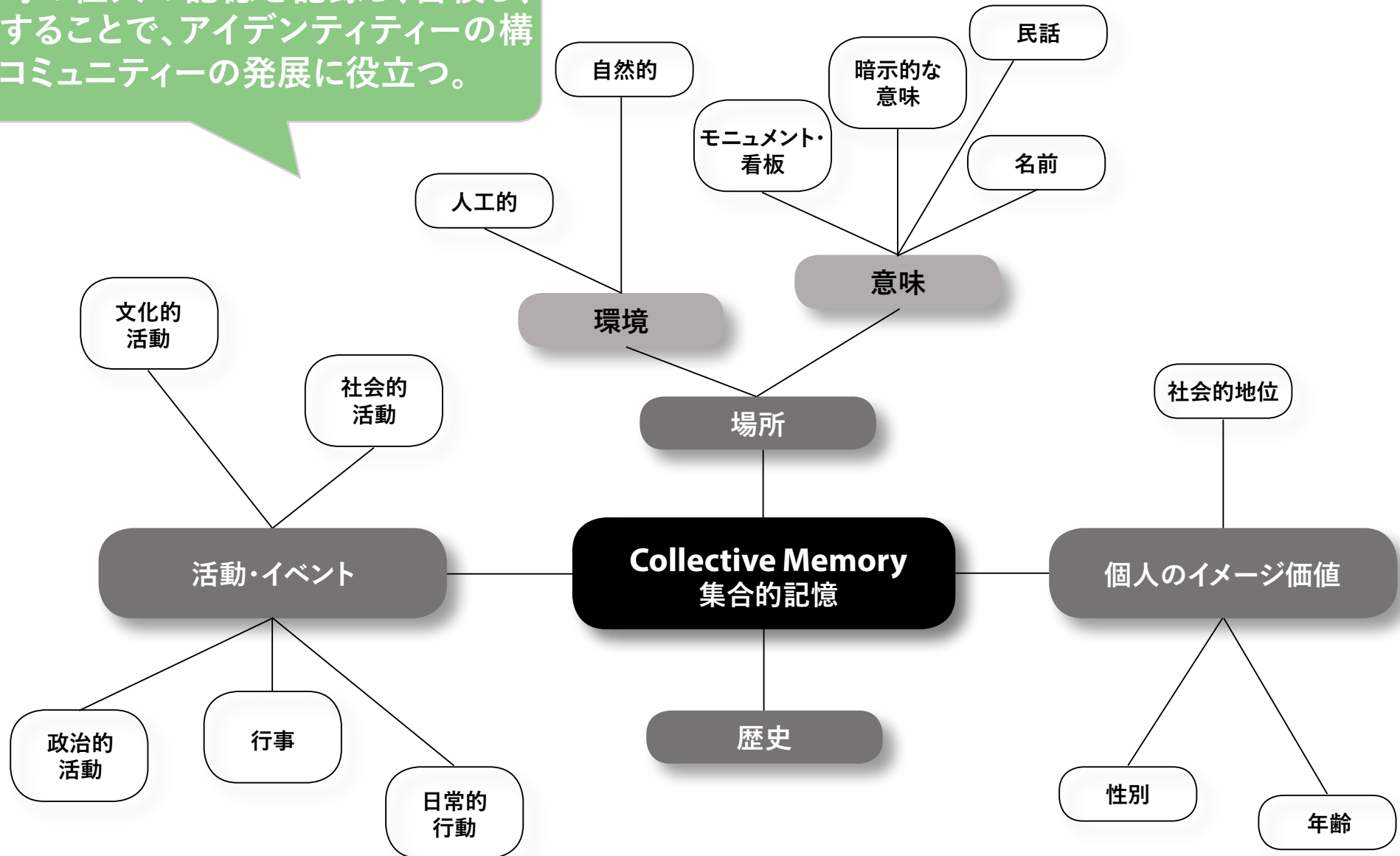
# 人と場所の繋がりマップ<発展>





## まとめ

Collective Memory <集团的記憶>は小川町の住人の記憶を記録し、蓄積し、共有することで、アイデンティティーの構築やコミュニティの発展に役立つ。







## まとめ

「小川町の住人の誇り」とは、あらゆる世代が小川町に愛着を持ち、献身したいという気持ちに現れている。

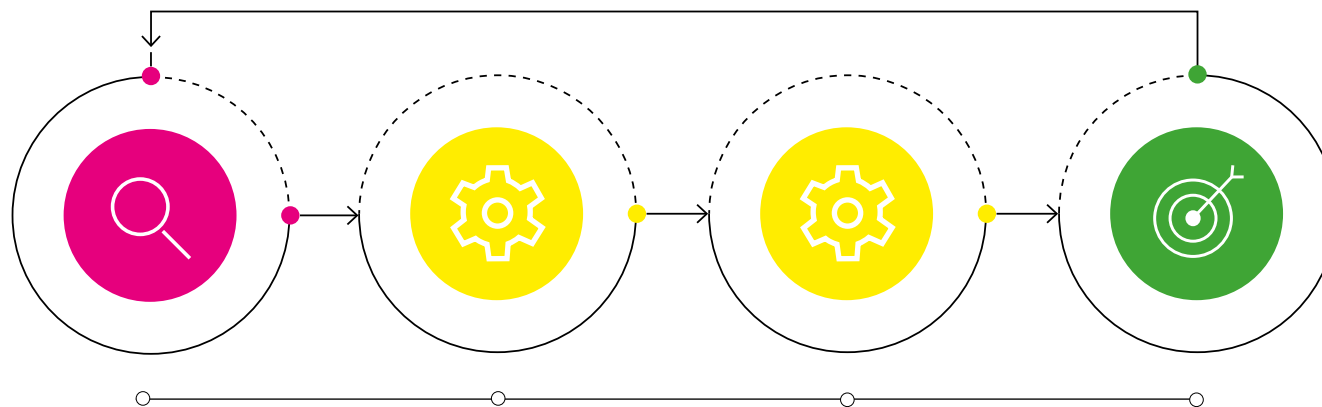
「小川町らしさ」とは、自然、歴史、産業、農業、それらにかかわる住人の誇り、そして、移住者や若者による人・場・食の多様性が織り成すものへと時代ともに発展している。

人口減少や超高齢化社会が避けられない中で、まちづくりのプロセスとして小川町の人々ひとりひとりが町の誇りを持ち、町にかかわり、交流し、そして、世代をつなぐ強いコミュニティを育てていくことが大切である。





# Collective Memory <集合的記憶>作成マニュアル



Step 01

Step 02

Step 03

Step 03

インタビュー  
選定

インタビュー撮影

癒しの場所  
大切な場所  
etc.

場所の撮影  
動画編集

Google Earth  
ストーリー作成

Collective Memory  
集合的記憶



チュートリアルを使って簡単に作成

[https://www.google.com/intl/ja\\_ALL/earth/outreach/learn/create-a-map-or-story-in-google-earth-web/](https://www.google.com/intl/ja_ALL/earth/outreach/learn/create-a-map-or-story-in-google-earth-web/)



## 謝辞

現地調査及びインタビューをするにあたり、小川町にぎわい創出課の矢島課長、移住サポートセンターの八田様に大変お世話になりました。

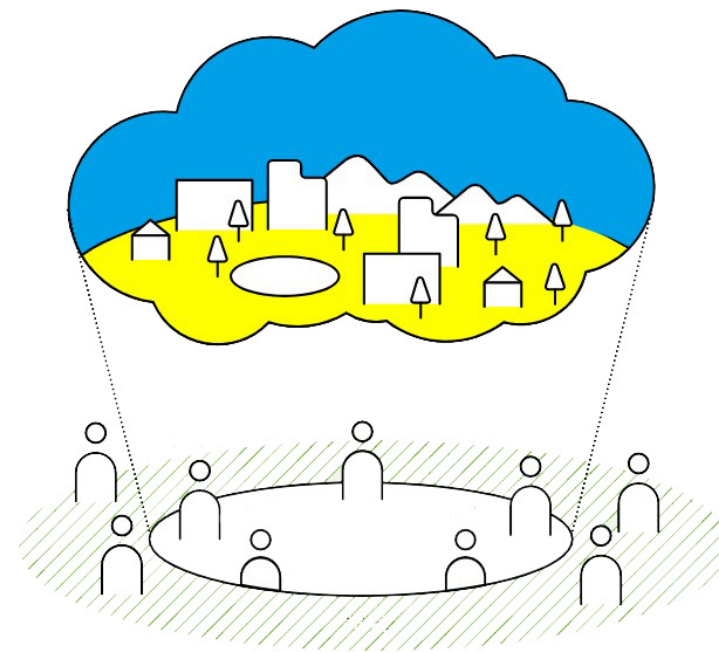
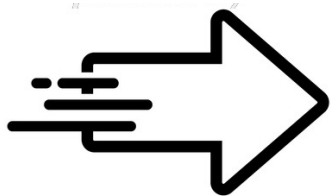
そして、13名の方にインタビュー撮影にご協力いただき、誠にありがとうございました。

白石欣也 クレン・デヴリーズ

東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻 寺田徹研究室







**この後のワークショップで  
皆様から発表へのご感想・ご意見を伺い、  
小川町の魅力を語り合えれば幸いです。**

**時間:15:40~17:00**